



福岡市医師会臨床検査センター学術講演会

当検査センターでは、毎年話題性のあるテーマについて学術講演会を開催しており、平成29年は「最新の臨床検査による予防医学へのアプローチ」をテーマとして開催しました。

Contents

- 臨床検査センター学術講演会／② みんなの広場／②
福岡市医師会臨床検査センターの紹介【検査業務課システム管理係】／③ お知らせ／④
ちょっとひと言！／④ 中綴じ（～病態へのアプローチ～VOL.96）

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号 TEL 092-852-1506 FAX 092-852-1510
<http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html> E-mail : fma@city.fukuoka.med.or.jp

臨床検査センター学術講演会

平成29年3月28日に、鳥取県の南部町国民健康保険西伯病院院長である木村 修先生をお招きし、「アミノインデックスによるがんリスクスクリーニング～住民検診への応用～」との演題でご講演いただきました。

アミノインデックス (AICS) とは血液中のアミノ酸濃度を測定し統計学的に解析することで、がん罹患しているリスクを評価する検査です (えんしんぶんり Vol.92参照)。

鳥取県では鳥取県地域活性化総合特区において南部町の住民検診にAICSを取り入れ、がん検診受診率向上に向けた取り組みを実施し、過去3年間2,402例の検診の結果76例のがん腫発見がありました。そのうち約半数がランクCの症例からであったこと、複数のがん種にランクCを有する症例ではがん発見率が有意に高率であったこと、AICSを取り入れて以降、個別のがん検診の受診率が上昇したことなどが報告されました。

質疑応答では現行の腫瘍マーカーとの相関性や検診受診後のフォローアップの方法など臨床現場に直結する質問が多数あり、先生方の関心の高さが伺える講演会となりました。

次回も日常診療の一助となるような講演会開催にむけて準備を進めております。その際には先生をはじめ、医療従事者の皆様方多数ご参加頂きますようお願い申し上げます。



南部町国民健康保険
西伯病院 院長

木村 修 先生

【AICS】

検査項目名称	評価対象がん	がん種別評価対象年齢
男性AICS [5種]	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25歳～90歳
	前立腺がん	40歳～90歳
女性AICS [6種]	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳～90歳
	子宮がん、卵巣がん	20歳～80歳

結果はランクA～Cの
3種類で分類されます。

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
がんであるリスク	低危険群	高危険群	

今回ご紹介しました講演会の模様を取めたDVDを配布しております。

希望される場合はお電話にて当検査センター (TEL: 092-852-1506) まで申し込みください。

みんなの広場

肩こり

みなさん肩はこりますか? 私はずいぶん前から悩まされております。肩こりは「日本の国民病」と呼ばれることもあるように、男女ともに悩まされている人がたくさんいます。肩や首の血流が滞り、その部分に疲労物質が溜まることで肩こりに繋がります。

体重の10%もあると言われていた頭を細い首が支えているので、肩には大きな負担が掛かっています。その上でストレスにより緊張状態が続き身体が固まることや、合わない枕が原因で首周辺が圧迫を受けることなどにより炎症を引き起こし肩こりとなります。また、寒さ(夏場はエアコンによる冷え)でも首が縮まり血行不良となります。他にも長時間のパソコンやスマホの使用、加齢による影響など肩こりとなる要因は様々です。

つらい肩こりの解消法は、肩たたきより肩もみが有効です。げんこつで強くたたくと逆効果で、指先でギューギューもむより手のひらのぬくもりを伝えるようにゆっくりと撫でるように行うのがコツです。つぼ押しの場合は、首筋のやや外側うなじの窪みを両手の親指で押しながら頭をゆっくり前後に動かします。また手の甲側、親指と人差し指の骨の別れ目のやや人差し指側にもつぼがあります。他にもストレッチなどいろいろあるのですが、なぜか長続きしないんですね。

営業課受付庶務 藤井 沙織

検査業務課システム管理係紹介

2016年4月の組織変更により検査業務課システム管理係が誕生しました。職員5名、受付入力スタッフ20名で日々業務を行っています。私たちは、医療を取り巻く環境に対応できるよう日々研鑽し、正確、迅速、安心して検査結果をご報告出来るよう取り組んで参ります。

システム管理係の業務は、主に次の通りです。

- ◎ご依頼いただいた検査項目の受付業務
- ◎Dr. Webの管理・運用業務
- ◎各医療機関電子カルテとの連携業務
- ◎特定健診業務全般
- ◎ご依頼いただいた検査項目の請求業務
- ◎その他検査センターのシステムに関わる業務全般



● PSA 10月はPSA(前立腺がん)検診の受診月です



【目的】

福岡市医師会では福岡市からの委託を受け、前立腺がん予防の啓発と検診を通じて福岡市民の健康増進に寄与することを目的に実施しております。

来月10月は、年に2回の実施月のうち1回目ですので対象の方がおられましたら受診勧奨して頂きますようご案内します。

また、実施登録医療機関への登録がお済みでない医療機関は是非この機会に登録されますよう併せてご案内します。

【実施要領】

1. 対象者：福岡市民の方（男性、満55歳以上）で職域等で受診する機会のない方
2. 登録方法

前立腺がん検診を実施するには福岡市医師会に事前登録する必要があります。

詳細につきましては、福岡市医師会医務課（Tel 8 5 2 - 1 5 0 4）にお問い合わせのうえ、ご登録を宜しくお願い致します。

3. 内容：血液（PSA：前立腺特異抗原）検査
4. 受診者負担金：1,000円

※下記の方は、負担金が免除（無料）になります。

- ① 満70歳以上の方
- ② 市民税非課税世帯の方
- ③ 生活保護受給世帯の方 等

5. 実施時期：毎年10月と2月
6. 依頼方法

本会検査センターの「総合検査依頼書」または「集団検査依頼書」を使用して頂き、依頼書のフリー欄に項目コード「201」とご記入を宜しくお願い致します。また、性別、年齢（生年月日でも可）のご記入も併せてお願い致します。

前立腺がん検診のお知らせ

前立腺がんは血液検査でチェックできます。

初期に発見すると、**自覚症状が乏しい前立腺がん**。最近なんだかおかしいぞや。と気づく前に前立腺がん検診を受けましょう。

福岡市では**10月と2月**に前立腺がん検診を実施します。この機会にぜひ受診されることをお勧めします。

【対象者】 満55歳以上の市民(男性)	【実施期間】 平成29年 10月1日から10月31日まで 平成29年 2月1日から2月28日まで
【負担金】 1,000円 下記に該当する人は、自己負担金が無料になります。 ① 満70歳以上の方 ② 市民税非課税世帯に加入している方 ③ 生活保護受給者の方 ④ 生活保護受給者でないが、生活保護受給者等と同居する方 ⑤ 生活保護受給者等と同居するが、生活保護受給者でない方 ⑥ 生活保護受給者等と同居するが、生活保護受給者でない方 ⑦ 生活保護受給者等と同居するが、生活保護受給者でない方	【実施場所】 福岡市医師会検査センター 〒815-8501 福岡市中央区南10丁目1番1号 TEL 092-281-1504

実施する医療機関については、お住まいの区の保健福祉センターに電話でご確認ください。また、ホームページでもご覧いただけます。

毎月1～7日は、**健診受診 推進週間**

健診受診は、毎月1～7日を「健診受診推進週間」と定めています。平日や夜間、地域において、特定健診やがん検診などの受診を呼びかけ、自らの健康づくりについで受診を促します。

WEB 福岡市 各種がん検診

本会では、様々な検診（肝炎ウイルス、大腸がん、特定健診等）を実施しております。受診される患者様にご案内して頂きますようご協力の程宜しくお願い致します。



断捨離(だんしゃり)

福岡へ引越す時にものを減らす必要に駆られて、整理整頓が全くできない娘の為に購入した「人生がときめく片づけの魔法」(近藤麻理恵著)を参考にして「ときめかないものを捨てる」断捨離を行い我ながらすっきりして新生活がスタートしました。2年以上経つとすっきりしていない事に気が付き、改めて家の中を見渡すと引越してから一度も使っていない、あることさえ忘れていたものが沢山。ほとんどアウトドア用品や遊興品です。(食器・ラジオ・ハンモック・ボート・ランプ・双眼鏡・薪・将棋・花札・燻製器・テニスラケット...)いずれもときめくのですがこの際捨てようと思います。ちなみに娘はなんにでもときめくようです。

(センター長 山屋)